

## 〔男子決勝〕

千葉市立 椿森中学校 (千葉)	68	$\left\{ \begin{array}{l} 16-19 \\ 8-25 \\ 11-36 \\ 35-15 \end{array} \right\}$	95	八千代松陰中学校 (八千代)
-----------------------	----	---	----	-------------------

### 【評】

八千代松陰はハーフコートマンツーマン、椿森はオールコートマンツーマンでスタートした。椿森は#4清水を中心としたオフェンスを展開。八千代松陰は#7渡邊と#10関がインサイドやジャンプシュートで得点を重ね、第1Qは16対19で八千代松陰リード。八千代松陰は第1Qと変わらず#7渡邊、#5小張のインサイドを中心に試合を展開。椿森はなかなか流れに乗れずにタイムアウトを2回とる。その後、椿森#5村上を中心に3Pやジャンプシュートで攻めるが第2Qは8対25で終えた。第3Q、椿森は果敢に3Pを放ち、外郭からの攻撃で展開した。椿森#4清水はリバウンドの際に負傷するがすぐに復帰し、チームを引っ張った。八千代松陰は、ディフェンスリバウンドからのブレイクやインサイド、3Pと多彩な試合運びでリードを広げた。第4Qは両チームブレイクからのカットインで得点を重ね、互角の立ち上がりを見せた。椿森は疲れを感じさせないディフェンスでパスカットを連発し、#4清水を中心に、カットインや3Pで追い上げを見せる。八千代松陰は流れをつかめない中、ブレイクを確実に決め、前半のリードを生かしながら試合を進めていった。椿森は驚異的な追い上げを見せたが試合は68対95で八千代松陰が優勝を決めた。最後まで諦めない椿森の選手たちの戦う姿勢に、会場からは温かい拍手が送られた。